

有害物質の溶出なし

～シリコン調理器具の品質～

近年、魚や肉、野菜、パスタなどの料理が電子レンジで簡単に作れる調理器具として「シリコン調理器具」が人気です。その名の通り容器はシリコンできており、野菜や具材由来の水分を利用して調理する蒸し器です。調理の際、電子レンジを使い高温状態で調理するため、「有害物質の溶出が心配である」などの問い合わせがあることから、溶出試験を始め、品質のテストを行いました。



テスト品とシリコン調理器具を使った野菜の蒸し料理

テスト品目

シリコン調理器具12銘柄

テスト結果

○溶出試験

全銘柄、鉛は検出されませんでした。ホルムアルデヒドも陰性でした。食品衛生法では、ほ乳器具を除くゴム製の器具、もしくは容器包装の規格は、鉛で1ppm以下、ホルムアルデヒドで陰性となっているので、いずれも規格に適合していました。

○電子レンジ耐久性

オリーブ油を入れ、油温が200℃以上になるまで加熱したところ、形状の変化等全銘柄に問題はありませんでした。

○耐熱性

表示耐熱温度（220～270℃）まで上げて1時間おいたところ、形状の変化があったものは1銘柄（No.12）で、使用に支障が出るほどではないですが、若干フタがゆがみました。

○色・ニオイの付着

それぞれにビーフカレーを上端から1cmまで入れ、電子レンジ（500W）で2分加熱。それから常温で1時間おき、冷蔵庫内で12時間以上放置した後、台所用合成洗剤で洗浄しました。

1回目では着色があったのは4銘柄（No.1、8、

10、12）で、5回終えた時点では8銘柄（No.1、3、7、8、9、10、11、12）に着色がありました。早い時点（1回目）で色付きがあった4銘柄は容器やトレイが透明、または白系であるものが多く、目立ちやすかったと考えられます。

ニオイに関しては1回目で3銘柄（No.6、7、9）を除く銘柄からニオイを感じました。2回目以降は全銘柄からニオイを感じました。

表示状況

材質に「シリコン樹脂」と表示されている場合、家庭用品品質表示法における「食卓用、食卓用又は台所用の器具」型成形（加熱し、型の形にかたちづくる）された合成樹脂製のものの対象となります。「樹脂」表示があるものが対象となり、「シリコン」、「シリコンゴム」のような「樹脂」の表示がないものは対象外になります。

上記規程にある食卓用の器具の表示事項は①原材料として使用する合成樹脂の種類②耐熱温度③取扱上の注意（火のそばに置かない旨）④表示者名等の付記—以上の4項目です。今回、「シリコン樹脂」表示があったのは4銘柄（No.2、6、11、12）であり、①から④まで表示がなされていました。「樹脂」表示のないその他の8銘柄にも②から④の表示がありました。取り扱い方法に関する表示は

●テスト品

No.	商品名	鉛	ホルムアルデヒド	耐熱性	原料樹脂又は材質	耐熱温度	製造国又は原産国	輸入販売元	購入価格(円)
1	STEAMCASE	n.d.	陰性	問題なし	シリコン	260℃	スペイン	コラムジャパン(株)	3,990
2	VIV Silicone Steamer:Due	n.d.	陰性	問題なし	シリコン樹脂	270℃	中国	(株)ワールド・クリエイト	2,940
3	シリコンテーブルトップスチーマー	n.d.	陰性	問題なし	シリコンゴム	230℃	中国	パール金属(株)	1,480
4	シリコンスチーマースクエアM	n.d.	陰性	問題なし	シリコンゴム	240℃	中国	(株)LIXILビバ	780
5	蒸し器 シリコン	n.d.	陰性	問題なし	シリコン	240℃	中国	(株)ニトリ	799
6	シリコン蒸し器S	n.d.	陰性	問題なし	シリコン樹脂	230℃	中国	スケーター(株)	1,500
7	シリコンスチーマーM	n.d.	陰性	問題なし	シリコンゴム	220℃	中国	和平フレイズ(株)	2,100
8	ミシェルヘルシースチーマー(M)	n.d.	陰性	問題なし	シリコンゴム	260℃	中国	(株)ドウシヤ	500
9	シリコンクックポット リーフ	n.d.	陰性	問題なし	シリコン	230℃	中国	(株)シービー・ジャパン	980
10	Round Steamer M	n.d.	陰性	問題なし	シリコンゴム	220℃	中国	メレフランセ	2,100
11	シリコンスチーマー	n.d.	陰性	問題なし	シリコン樹脂	260℃	日本	(有)マキノトレーディング	2,625
12	SILICONE STEAMER	n.d.	陰性	蓋が僅かに歪んだ	シリコン樹脂	220℃	台湾	INTERIOR COMPANY	1,260

n.d.：不検出

全銘柄にあり、外箱や箱内部、付属のレシピ本や説明書に記述がありました。

まとめ

- 鉛、ホルムアルデヒド、電子レンジ耐久性試験、いずれも問題はありませんでした。ただし、耐熱性試験では1銘柄（No.12）のフタがわずかにゆがみましたが、使用に問題はありませんでした。
- 色やニオイに関しては、容器やトレイが透明や色の薄い銘柄ほど着色が目立ちます。No.11を除く銘柄に色移りに関する注意表示がありました。ニオイに関する注意表示もNo.8、11、12を除く9銘柄にありました。
- 「シリコン樹脂」と表示がある銘柄については家庭用品品質表示法の対象となり、表示項目はすべて表示されていました。しかし、

シリコンの種類（樹脂、ゴム等）によって表示義務が異なるので、その違いが消費者にとって分かりにくいためシリコン調理器具の表示の見直しを消費者庁へ要望しました。

消費者へのアドバイス

- 調理後、器具自体はあまり熱くないですが、中の料理は高熱になっています。レンジから取り出す際に容器が柔らかく、内容物がこぼれる可能性があるので注意が必要です。また、フタを開けた際の蒸気にも注意しましょう。
- ニオイ移りが気になる場合は、レモン汁、重曹等で軽減する方法を記載している商品があるので、参考にするとよいでしょう。
- 器具によっては調理時間等に違いがあるので、取扱説明書などのレシピ本を読んでから使用しましょう。